

報道関係各位



2023年12月10日(ホノルル現地時間)

**2023年12月10日(日) 午前5時スタート(ホノルル時間)
晴れ渡る青空のもと、ホノルルマラソン 2023 開催
日本人 9,545 人、トータル 29,836 人がエントリー！**



「ホノルルマラソン 2023」<現地時間 12 月 10 日(日)午前 5 時スタート>は、盛大に打ち上がる花火の中、42.195km 先のフィニッシュに向け、老若男女のランナーたちが一斉にスタートし、ホノルルの観光ポイントをめぐるコースを駆け抜けました。今年はフルマラソン、10K ラン&ウォーク合わせて、29,836 人(内日本人 9,545 人)がエントリーしました。トータルのエントリー数は、昨年から微増となりましたが、日本人ランナーは、昨年の 2 倍に迫る人数となりました。

フルマラソン男子はポール・ランニャンガタ(30 歳・ケニア)が 2 時間 15 分 42 秒で、女子はシンシア・レモ(33 歳・ケニア)が 2 時間 33 分 01 秒で、ともにケニア勢が優勝しました。ポール・ランニャンガタは、「2014 年以来、優勝が出来てとても嬉しい。コンディションは、暑くて 34km くらいからは、風も強く湿度もかなり高かったので大変でした。でも沿道の応援が素晴らしいので、とても好きな大会です。純金の優勝メダルのことは、昨日マネージャーから聞いたけど、他の大会では貰えないのでビックリしました。これからも続けて何度も参加したいと思います。」と語りました。

日本人男子トップは、松井俊介さん(32歳・千葉県)が2時間24分48秒で男子5位に、女子は阿部有香里さん(34歳・京セラ)が2時間47分32秒で女子4位に入賞。車椅子部門では、男子は副島正純さん(53歳・ソシオ SOEJIMA 所属)が1時間38分46秒で、女子は土田和歌子さん(49歳・株式会社ウィルレイズ)が2時間3分00秒で優勝に輝き、レジェンドの走りを見せました。

また、今回大会の応援サポーター&ランナーを務めた小島よしおさん(43歳)は、5時間50分52秒で完走。「盛大な花火から始まり、高揚感がすごく、この暖かい気候でクリスマスソングが聞けるのも新鮮で楽しいと思いました。ダイヤモンドヘッドでの日の出もとても綺麗で、そんな中で走れたのがすごくよかったです。エイドステーションのボランティアスタッフのテンションが高いのは、ホノルルマラソンの特徴なのかと思いました。ハイウェイですれ違う人達とのコミュニケーションで、ゴールに向かっていく一体感が味わえたり、最後、40km手前からの太鼓やフラの応援など疲れているときに癒されるポイントがたくさんあるし、ゴールして、もうまた走りたいと思いました。」と初めて走るホノルルマラソンの感想を語りました。大会公式フィットネスアドバイザーのAYAさんは(38歳)は4時間52分50秒で初フルマラソンを完走。「以前ハーフを一人で走ったのと違い、今回は伴走についてもらってアドバイスをもらったのは100倍心強かったです。疲れたとき、エイドステーションの人たちも陽気で他人事なのですごく励ましてもらって。お祭りのような大会で、もしマラソンを走るなら寒い地域ではなく、楽しいホノルルマラソンがいいなと思いました。」

このほか、元プロ野球選手で現在野球解説などで活躍中の杉谷拳士さん(32歳)も参加。その模様は、2024年1月13日(土)16時より、TBS(関東ローカル)第51回ホノルルマラソン特別番組「絶景リゾートラン&最新グルメでハワイを満喫!ホノルルマラソン2023」にて放送いたします。

前日9日(土)に開催された1マイルを走るカラカウアメリーマイルでは、エリート部門が今年から公式レースとなり、男子はイエアード・ナグセ選手(24歳・アメリカ)が3分56秒58で、女子はニッキ・ヒルズ選手が4分28秒07で優勝しました。日本から、田中希実選手(24歳)が参加、4分29秒79で女子2位でした。

制限時間がないフルマラソンとして、地元ボランティアによるアロハスピリッツ溢れる大会として、多くのランナーに愛されてきましたホノルルマラソンは、今後も未来に向けて新たなチャレンジをまいります。

